

## 大隅町岩川八幡神社の弥五郎どん祭り

【所在地】曾於市大隅町岩川 5745（大隅町弥五郎どん祭り保存会）

【種別】県指定無形民俗文化財

【指定年月日】昭和 63 年 3 月 23 日



この祭りは、11月3日の午前2時頃から始まるが、・起こし太鼓、・弥五郎どん組立て、  
・弥五郎どん起こし、・浜下りからなっている。

浜下りは、高さ4.85mの大人形の弥五郎どんを先払いとして、大傘・大幣を持った神職、  
八幡神社神旗、笛・太鼓の楽、旗をつけた矛、天狗の面のついた矛・弓・矢・幟、神輿、  
宮司、氏子の順で進む。

竹で編まれた胴体をもつ4.85mの大きな人形（胴体部分の竹カゴ及び衣装は4年に1回  
造りかえる）の登場する祭礼は、県内では数少ないものである。

天保14（1843）年に編さんされた『三国名勝図会』の中に「祭（し）十月五日、其  
日華表より、一町許 距れる処に浜下の式あり、大人の形を造って先払とす。身の長け一  
丈六尺、梅染単衣を着て、刀大小を佩ひ、四輪車の上に立つ、此人形は、土人伝へて大人  
弥五郎といひ……」とあることから、この祭りは古い歴史をもっていることがわかる。

毎年、11月3日、岩川八幡神社の秋祭り（通称ホゼ）で公開している。